

学校だより



〈いよくふう〉

校訓 継続は力なり

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

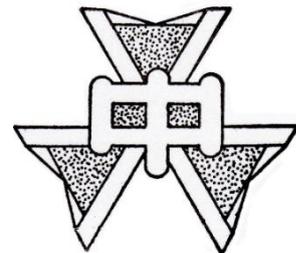
令和5年10月2日(月) 第6号

「体験」を「知恵」に変える

校長 二瓶 亮

日没の時間が早くなり、朝晩の涼しさにやっと秋を感じられるようになりました。昨日10月1日(日)は吹上中学校の開校記念日でした。

吹上中学校は昭和22年埼玉県北足立郡学校組合立吹上中学校としてその第1歩を踏み出しました。その後、町村合併があり、吹上町立と改称の後、昭和33年10月1日吹上町と下忍村合併により、吹上中学校と下忍中学校が統合されて、現在の吹上中学校が設立されました。そしてこの日を開校記念日と定め、現在(開校77年目)に至っています。これまでの卒業生は13,566名(令和5年3月31日現在)。歴史と伝統、地域の誇りとなっている学校であることが分かります。その重みをしっかりと感じながら生徒、保護者、地域の方々とともに吹上中学校を未来へつなげていきたいと思えます。



さて9月13日(水)から15日(金)の3日間、2学年が4年ぶりに実施された社会体験チャレンジ(職業体験)に参加しました。この企画は中学校における進路指導・キャリア教育の一環として行われ、生徒の「職業観」「勤労観」の育成に大きく関わるものです。私も学校の近隣で生徒を受け入れていただいた事業所を回り、吹中生の仕事ぶりを拝見しました。「仕事」に参加させていただくことで、そのやりがいから大変さまで真剣に学んでいる生徒の様子を見ることができて、校長として誇らしく、そして嬉しい気持ちになりました。実際にやってみないと分からないこと、表には見えない大切なこと、学校だけでは学べない社会のルールやマナーに至るまで、体験を通して知ることが出来た貴重な3日間だったと感じます。生徒にはこの体験を自分の将来を考える上での「知恵」に変えて、自分にとってやりがいのある仕事とは何か、自分の夢や希望を叶えるためにこれから必要となることは何かを考える力にして欲しいと思えます。

9月にはこの他にも吹香祭や第76期生徒会役員選挙、新人兼県民総合スポーツ大会班大会が行われました。それぞれの行事で様々な体験があったと思えます。これらの体験を「楽しかった」「大変だった」「嬉しかった」「悔しかった」だけで終わりにしてしまっただけでは、生きる力にならないと感じています。学校では普段の授業からも「振り返り」を大切にして「体験(分かった、できたを含む)」を今後役に立つ「知恵」に変えて先に進むよう指導しています。その時に必要になるのが自らの力で考えることです。吹中生にはぜひ、そのことを意識して学校生活を送って欲しいと思えます。学校生活で起きるすべてのことを、自分を成長させるために必要なことと捉える意識を持った中学生になることを願います。この姿勢は、77年前も今も変わらぬ中学生としてあるべき姿だと思えます。

今月で令和5年度も折り返しを迎えます。今年度前半を振り返りながら、開校記念日を迎えたことを機に、歴史ある吹上中学校で学んでいることを誇りに思い、日々の成長する吹中生を体現していきましょう。

鴻巣市内はもとより、近隣の小中学校ではインフルエンザ、コロナウイルスによる学級、学年閉鎖が出ているようです。保護者、地域の皆様には、引き続きお子様の健康維持や見守り等の御協力をお願いいたします。